

Shokuhin News Neo -2013 September-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 (自然科学総合研究棟) 5836 (農学部 F 棟)

e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

大学院入試 合格おめでとう BBQ

9月10日(火)、博士前期過程の合格発表があった。内部生の6人は全員無事に合格したようで、清々しい気持ちで12日(木)に開催されたお祝い BBQ を楽しめたようだ。

お祝い BBQ には動物多様性利用科学研究室の大澤教授と野本特命助教も参加され、合格した4回生は先生方の前で博士課程前期課程における抱負を述べる運びとなった。



合格した B4、嘉正雄太(左上)、岡早紀子(右上)、山下紗枝(中央左)、橋本佳奈子(中央右)、大竹春花(左下)の5名が壇上(長椅子)で抱負を語った。右下の宮本岳(B4)は合格したものの当日は欠席だったため、別の日に撮影。

ここで、宮本が合格者を代表してコメント。

7月月例報告会、8月オープンキャンパスと忙しく、かなり不安を抱えつつの院試でしたが、なんとか受験した4回生全員が無事に合格することができました。これも、研究室の皆様方が励まし、支えてくださったおかげです。ありがとうございました。来年からもう2年間お世話になりますが、どうぞよろしくお願いします。

**合格おめでとうございます！！
これからも研究室の一員として
頑張ってください！**

IUNS 20th International Congress of Nutrition

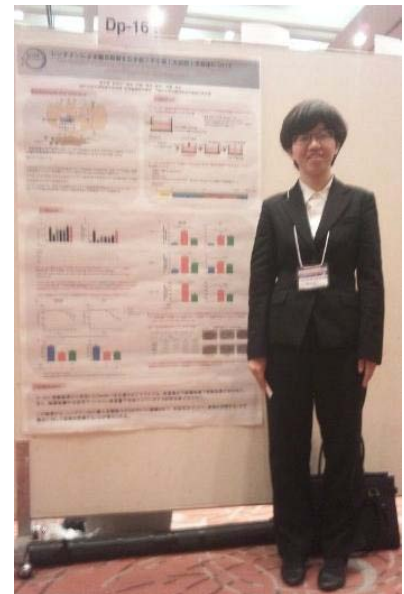
9月15日(日)～20日(日)、スペインのグラナダで開催された本学会に橋本堂史准教授、藍原祥子助教、宋苑吟(D2)、岩見志歩(M1)が参加し、発表した。宋と岩見は初めての国際学会ということで、英語でのディスカッションなど不安が絶えない様子で旅立ったが、実際はスペイン観光を大いに楽しんでいらした。



本学会の発表形式は電子ポスター。研究内容について来場者とディスカッションする宋(D2)と、それを見守る藍原助教。

日本応用糖質科学会

9月25日(水)～27日(金)に鹿児島で開催された本学会に水野雅史教授、橋本准教授、雫子谷百合江(M2)が参加した。



ポスター発表を行った雫子谷(M2)。緊張しながらも、企業の方とディスカッションするなど、充実した時間を過ごせたようだ。

論文・学会発表

学会発表)

International Union of Nutritional Sciences 20th International Congress of Nutrition, 15th-20th September, Granada Congress Centre, Granada, Spain

○ Won Young Song, Yoshiko Aihara, Takashi Hashimoto, Kazuki Kanazawa 「Dietary polyphenols induce a secretion of gut hormones from Caco-2 cells」 Abstracts p.1701

○ Ayumi Doi, Yoshiko Aihara, Takuro Momota, Akiyuki Yokoyama, Takashi Hashimoto, Kazuki Kanazawa 「A Co-administration of flavonoids to increase their bioavailability in rat」 Abstracts p.1691

○ Maya Ishimura, Takashi Hashimoto, Maki Tanaka, Yoshiko Aihara and Kazuki Kanazawa 「6-methylsulfinyl hexylisothiocyanate inhibits cell cycle progression accompanied by interaction with glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase」 Abstracts p.1335

○ Shiho Iwami, Takashi Hashimoto, Tomohiro Shimoaki and Kazuki Kanazawa 「Activation mechanism of drug-metabolizing phase II enzymes by 3-*O*-[2-*O*-(β -D-xylopyranosyl)- β -D-galactopyranosyl]-kaempferol」 Abstracts p.1335

日本応用糖質科学会 平成25年度大会(鹿児島)
2013年9月25-27日

○ 雫子谷百合江、西谷洋輔、橋本堂史、水野雅史「レンチナンによる腸炎抑制を引き起こす小腸上皮細胞様受容体について」
講演要旨集 p.50

編集後記

無事に全員が合格したようで、改めておめでとうを言いたいと思います。これからも研究室メンバー全員で頑張っていきますので、OB・OGの方々、応援よろしくお願い致します。

来月からは2回生の応用生命化学実験Ⅰが始まります。B4、M1がTAとして頑張る様子をお伝えします。

滝沢彰良(M1)